

# 視察報告書 2年10月28作成 保守の会 吉田つとむ

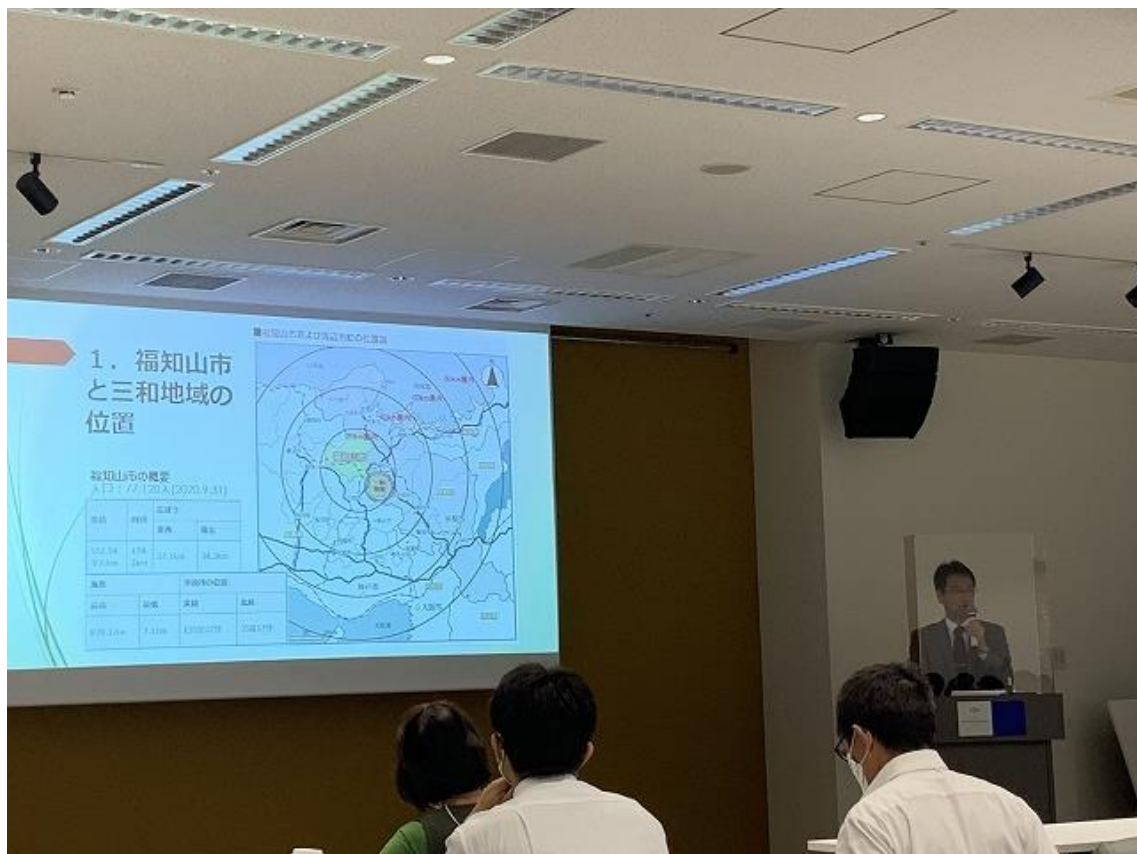
## 調査事項 2-1

福知山市 (552.54km<sup>2</sup>) に、2003 年に合併した三和町 (90.53km<sup>2</sup>、参考：町田市 71.55 km<sup>2</sup>) .地域住民の生活に根付いた三和地域協議会の取り組みが報告されました。2020 年 9 月末の人口が、3,167 人の地域の当事者から説明されました。

現状は人口減少過疎から、世帯減少過疎に移行中で空き家が増加しています。ただし、旧三和町という基礎自治体があった地域であり、行政、金融、称号サービス機能は域内にそろっている地域になっています。

公共交通機関では、旧国鉄バスがあったのですが、現在は J Rバスとなり、減便して路線維持されています。公営バスは、自治体の統合に伴い、町営から市営の形態も変わってきました。現在 3 路線、4 系統を維持しているとのことでした。人口減、利用者減で、減便を続け、2019 年小中学校の統合で、小中学生はスクールバスの利用に転換し、乗車ゼロ人のバスが更に増加しました。

そうした経過で、個別輸送への転換が課題になり、住民タクシー＝運営を住民組織が担う形態になっています。



## <所感>

前年、この福知山市に行き、この岡部 成幸 氏（三和地域協議会事務局長）の講演をお聞きしたことがあります。ある意味では、今回はその復習的な面もありました。この日の岡部 成幸 氏（三和地域協議会事務局長）の講演では、地域活動が多岐にわたっていましたが、交通問題に絞って考えることにしました。

地域は発展の展望があるとの評価が書かれています。それは、働く場所が身近に増えているという説明でした。工場団地の新規立地で、大学（大学院）理系卒業に見合う企業の進出があると点が上げられました。

また、2016年に私立大学から福知山公立大学（もう一人の講師である杉岡 秀紀 氏の所属大学）、として公立化して以降、2020年には情報学部が新設される勢いが出ていることが話に加えられました。

さて、地域なら誰でも、片道 400 円で自宅から目的地まで、希望の時間に自家用車で送迎するという、移動に便利な有償運送事業が 2019 年 10 月からスタートしています。

町田市民の生活感覚からする金額とは大きく差があります。かなりの高額となっています。ただし、路線バスとは異なり、任意の場所に、任意の時間に来てくれると言う利点があり、買い物や医療機関では若干の待ち時間も待機してくれるようです。

思い出されるのが、都会ではやっている宅食の配送サービスです。注文を受けた料理を自宅まで配送するサービスですが、自転車やバイクを使って、個人がその運送企業と契約をして行うやり方です。



有償運送事業の車両は自家用車です。\*2種免許はいらないということが原則。基本的に、タクシーが通常の商売にならず、かつ、定期バスの運行が、どんどん廃止されたり、減便される時代に登場してきたものです。運転者は75歳までが可能であり、自家用車を投入して、本人が若干の収入になれば、仕事を継続することが可能でしょう。

人口過疎化地域において、この有償運送事業が定着すれば、地域維持の有効な手段となりうるでしょう。それをバックアップするのが、三和地域協議会になります。

<参考>

**2020.03.17 松村 エミリ インターンレポート 3-3 回**

**町田市会議員 吉田つとむ インターンシップ第45期研修生**

松村 エミリ 高校2年生

《本日の研修内容と感想》

## モビリティワークスについて

株式会社町田新産業創造センターに訪問させていただき、このセンター内にモビリティワークスの取り組みをしているベンチャー企業があることを初めて知りました。町田新産業創造センターの行っているインキュベーション事業についても教えて頂きました。初めて聞く言葉に、どんなことを指しているのか想像もつかなかったので、新しい知識が増えたことに単純に嬉しく思います。ベンチャー企業にワーキングスペースを提供し、支援をして、独創的・個性的な企業創出を図り、産業として確立させ地域に還元していく構造に先進性を感じました。





後日、モビリティワークスが実施されている鶴川団地に行きました。現在、団地には、二台設備してあり、ボランティアの方が運転をしている状況でした。利用者は現在、1人で、利用基準は要介護1以上の高齢者で、年間

500 円の定額制となっているそうですが、更なる利用者の確保が必要だと感じました。ボランティアの方にお話を伺ったところ、運転手のお仕事をリタイア後、何かボランティアできないかと思い始めたとおっしゃっていました。ボランティア様の志を無駄にしないように、事業の現在以上の発展を期待したいです。



.....  
0020.04.05 コメント 記：町田市議会議員 吉田つとむ

松村さんのレポートの到着が遅くなっていました。承知していたことです。これ以降も、何回か研修が進んでいきますので、順次、送付されてくるでしょう。なお、表記の学年はここではそのまま2年生としておきます。新しい事業の在り方と、人に出会いました。私も初めての出会いであり、それらの事業の在り方とかかわりを持つ皆さんの事業が進展することを期待しました。